

公共交通講演会「東浦町の『おでかけの足』をみんなで考える会」 開催結果概要

1 開催概要

■日 時：平成 30 年 7 月 8 日（日）13:30～16:30

■場 所：東浦町文化センター ホール

■参加者数：70 人

■内 容：

①町長挨拶

②基調講演「住民参加で作り上げる持続可能な地域交通」

富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 猪井博登准教授

③施策説明「東浦町地域公共交通網形成計画の概要とダイヤ改正の進め方」

東浦町総務部防災交通課 原田英治課長

④意見交換会

神谷明彦町長／猪井博登准教授／加藤博和教授（コーディネーター）

{

・意見交換会は、当日会場にて実施・回収したアンケート調査に基づき、参加者の質問に対して登壇者が回答する形で進行了ました。



2 アンケート調査結果概要

■回 収 数：37 票（回収率：約 53%）

■意見概要：

※詳細は次ページ以降に掲載、区分の A～I は次ページの意見に対応します。

| 区 分 | | 意 見 概 要 | 人 数 |
|-----------------------|---|---|-----|
| う・ら・ら | A 運行本数 | ・1 時間に 1 本運行 | 2 人 |
| | B 車両 | ・スーパーの帰りなど車内が満員で負担大 | 2 人 |
| | C 乗り継ぎ | ・JR との接続（緒川駅、石浜駅、東浦駅） | 5 人 |
| | | ・近隣市町のバスへの乗り継ぎ考慮・相互乗り入れ（大府市、刈谷市、半田市（特に石浜、藤江地区は半田方面） | 4 人 |
| | D 運行時間帯・ダイヤ | ・通院（刈谷豊田総合病院）や文化センター講演に合わせたダイヤ | 3 人 |
| ・病院（長寿等）からの帰宅便（長時間待つ） | | 2 人 | |
| ・飲み会に利用できるバス（23 時台） | | 2 人 | |
| E 小学生利用 | ・う・ら・らとスクールバスに分けた方がよい | 2 人 | |
| F 小型車両 | ・予約で地域内を循環するバス ・6 地区で運行するバス ・狭い道路（高齢者の多い地域）を運行バス ・小型車両追加とコストの考え方（質問） | 6 人 | |
| 利用促進 | G 利用促進策 | ・バス車内への荷物置き場の設置、雨傘レンタル、協賛金などの利用促進策の提案 | 4 人 |
| | H 時刻表 | ・家庭用時刻表の配布 | 1 人 |
| I その他 | | ・道路整備も必要 | 1 人 |
| | | ・運転手の育成 | 1 人 |

■アンケート意見一覧 (: 主に意見交換会で取り上げられた意見)

| no | 年代 | 居住地 | 1 基調講演の質問等 | 2 町の計画概要や今後のダイヤ改正の疑問・アイデア | 類型 |
|----|----|----------|--|---|-------------|
| 1 | 70 | 石浜 | ●西宮の生瀬地区の取組は素晴らしいことだと思います。 | ●長寿医療センターの午後の予約の時、往きは12:34発、診療が終わって帰るバスが14:55までありません。あまりに長い待ち時間で、時間つぶしが多変です。せめて一時間に一本はほしいものです。 | D |
| 2 | 50 | その他 | | ●高齢者が地域で買い物以外にサークル活動などおでかけの場となるコミュニティセンター、集会所、老人憩いの家、体育館、文化センターに出るために、予約で日時指定できる循環バスがあるといい。(毎日行くわけではないが、定期的に行くところがあるため) | F |
| 3 | 70 | 緒川新田 | ●運転手の資格の見直し・シルバーの利用(ルート固定) ●将来は無人運転では | ●うららとスクールバスは切り離すべき | E |
| 4 | 80 | 緒川新田 | ●緒川新田人口比25%、役所一番遠い住宅群、不参加又中心の緒川地区の区長さん達も欠席＝残念ですね。今後このような手違いが無い事を望む | | - |
| 5 | 30 | その他 | ●コミュニティバスをそのまま自分たちのまちに導入することは、実は生活に根ざした足ではないということ。 | ●役場の方の話がわかりにくかった。加藤先生の補足がなかったら、概要が理解できなかった。(例:スケジュールがはっきりせず、「雲をつかむような説明」を役場からの伝え方と感じた) | - |
| 6 | 50 | 緒川 | ●全住民が100%満足する公共交通をつくる事は、現実無理だし、必要ないと思われるものの、住民の要求とかけなはれすぎている公共交通では意味がない。住民側と行政側の妥協点はどこと考えますか? | | - |
| 7 | 70 | 藤江 | | ●ダイヤ改正に有たり、家庭にも交通の時刻表が有ると良いです | H |
| 8 | 50 | 森岡 | ●高齢化社会を考えた時に、住民の移動手段・社会参加の機会提供という観点で公共交通の必要性は理解できるが、源資をどう捻出するかが最大の課題と考える。行政、住民共に財源が乏しい中で有効な手段はあるか? 住民・地域を巻き込むためのマインドセットのキーワードは? | ●個人的にはうららの刈谷駅乗り入れに利便性を感じているが、刈谷市・大府市他の近隣市町との相互乗り入れによる利便性の向上を考えてはどうか? ●各地区の住民の行動パターンをどの程度把握しているか? 地区ごとに移動ニーズの高い拠点があるのか、皆がイオンをめざしているのか? これに則した交通網設計を考えるべきと思うが。 | C |
| 9 | 40 | その他(名古屋) | ●生瀬地区の方が交通を取組むことになったきっかけはどんなことでしょうか? 地域のどんな方がメンバーとしてかかわっているのでしょうか。 | ●時刻表にA~Eの記号があるが、バス停やバスの行先に表記がないので表記した方がよい ●若い人の利用が多いので、若い人のアイデアを取り入れた方がよい | G |
| 10 | | | ●生瀬地区のバスを運営している人はどのような人たちですか? 最初からやりたい人たちがいたのですか? 何がきっかけだったのですか? | ●東浦町でも生瀬地区のような住民参加の取組を想定しているのですか? | - |
| 11 | 70 | 藤江 | ●町役場を基点として交通体系としたい。文化センター等集客を目的としたところへの時間帯と本数が少ないと感じます。 | ●バス4台の人員客数が同一であるのかないのか ●大型スーパーの帰り時間帯が常に満員高齢者には負担大である。4台で100円より8台で200円又は300円でもサービス向上あればOK | B |
| 12 | 60 | 藤江 | ●運転手が内郷(手すり)改善してよいか(バス) | ●荷物置場を手前に作る(バス)高齢者手荷物があるため、取りやすい位置 | G |
| 13 | 50 | 石浜 | ●生瀬の成功例だけではなく過去に行った具体例(失敗例)があれば知りたい。地域環境によりやり方が違うと思うから、それらを参考に東浦町にあったやり方を考えたい。住民のベクトルを合やす考え方は理解できます。 | ●東浦の場合、6つの地区により住民世帯や目的地等が違うと思う。思い切って6つの地区に運行をまかせ様なコミバス(例うらら石浜号)はどうだろう。コミュニティセンターにバスで行っても良いと思う。乗車率15%を切らない事を目標にダイヤを作成する。目的が違う地区と一緒にしたダイヤでは双方にメリットがないと思う(但し、接したコミで目的が一緒なら合併も良いかな)僕が思うに地域によって買物先・クリニック・集会場等目的の地が違うと思います。又、通勤の足としての運行もJRのダイヤに合わせる事もできるかも。主な利用者は車の免許を持たない人と思うが、夜の居酒屋からの帰宅バスがあっても良いかも? まずはうららを使用してもらおう事が大事。利用ポイント制度やミステリーバス運行とかで住民に興味を持たせたい。イオンとか刈谷からはスポンサー料をもらえないのか? | F D G |
| 14 | 30 | その他 | ●今後の東浦にとって、パーク&ライドが必要かどうか聞きたい ●理由:名古屋へ行くにあたり、自宅から駅まで行く必要があるが、現在駅までスムーズに行けるバスがなく、(帰りの時間のバスが少ない)ししぶ車まで駅まで行く人がいます。家族に送迎してもらおうがほとんどだが、パーク&ライドも考えられ) | ●夜の運行を増やせないのか? たとえば刈谷から帰ってくるバスを23時まで作るetc. | D |
| 15 | | | | ●運転免許の返却を促していると思いますが、うららの利用券などのサービスを受けた方の後日談アンケートをとったらどうでしょうか(すでにしていたらすみません) ●半田市がコミュニティバスを走らせると聞いていますが、そちらとの接続を考えるのは可能なのでしょうか | G C |
| 16 | 60 | 森岡 | 運行ルート変更及びダイヤ本数の密度変更は何を軸に考えれば良いのか? | ●コスト改善策→アイデア次第で客足を伸ばせる。 ●バスを民間からのスポンサーを積極的に呼び込む。 ①通称:○○○(企業名)うらら ②バス内を美術館のような催しを実施 ③ゲーム性を付加し、多くの人に地域を知ってもらおう(EX:ウォーキング&案内ボランティアを活用) ④バスポート(定期券)を導入し、特典をつける ⑤バスを利用し、買い物を多くしていただいた場合、利用金額の1%を小売店などから協賛金をもらう(イオン・げんきの郷など) ⑥利用中、急な雨が降っていた場合、貸出用の傘をレンタルする→次回利用の場合もってきてもらう ⑦バス体験チケットを発行し、初めての人に1度でも利用してもらおう | |
| 17 | 60 | 緒川 | | ●うららは運行本数が少なく不便です。安すぎる受益者負担(運賃)を増やして4台のバスを5台に増やして、利便性を高めてください。税金の投資を増やさずに受益者負担で考えてください。 | A |

| no | 年代 | 居住地 | 1 基調講演の質問等 | 2 町の計画概要や今後のダイヤ改正の疑問・アイデア | 類型 |
|----|----|------|---|--|--------|
| 18 | 40 | 緒川 | ●武蔵野市のムーバス、西宮生瀬地区のバス、成功要因ももう少し詳しく教えていただきたい | ●小型車両による支線路線(小型車両)が今までに加えて追加されるということでしょうか。そのコストはどのように考えていますか。またその支線路線は石浜、生路を走るようですが、その経緯は？他地区とちがう要因があるのでしょうか | F |
| 19 | 70 | 森岡 | ●生瀬のケースの企画を最初に考えたのは行政？住民？先生？誰ですか？生瀬での地域交通コストは従来発生していなかったのですか？ | ●費用経費についての基本的な考えは？ ●現状より+αの町負担を考えているのか？ ●現状より+αの住民負担を考えているのか？ ●現在費用経費を維持して範囲内での改善を考えているのか？ 基本的な方針は？ ※H28より計画がスタートしているがもっと早めに住民に知らせて議論した方がよかったですのでは？ | - |
| 20 | 50 | 生路 | ●8年ほど前に、現在各地区にある、まちづくり実行委員会でのまちづくりのための地域で課題をあらい出すワークショップで、小型バス(ワンボックス)を地元有志まちづくりで走らそうというテーマもあげられたが、住民だけの知識では限度があり、立ち消えになった。そこに行政が入っていただけたら、何らかの進展があったのかもと今の講義を聞いて思いました。 | ●路線や台数が増やせない理由として、運転手不足があげられているが、運転手の育成(資格取得等)に対しての本町の考えは？ | I |
| 21 | 20 | 石浜 | | ●バスの大きさが小さいためぎゅうぎゅうで乗ったり、座るために自宅よりも1,2区間手前まで歩いて乗っている方がいるということをよく聞きます。高齢者の負担を減らすためにも対応してもらえると助かります。また、病院のため利用していても帰りのバスを1時間以上待つこともあるようなのでもう少し利用しやすいようになるとありがたいです。 | B D |
| 22 | 60 | その他 | ●生瀬のプロジェクトを推進された住民の方々とはどんな立場の人たちですか(全くのボランティアで参加されていたのか年齢構成はどうか等) | ●緒川小学校の生徒の通学のためうららとは別のスクールバスを準備運行する等の考えはどうか | E |
| 23 | 80 | 石浜 | | ●石浜・緒川駅の時刻とバス到着・発着との連携を十分考慮願いたい。(10~15分間位の猶予が必要)(バスが7分遅れにより名古屋への列車に乗り遅れた) | C |
| 24 | 80 | 藤江 | | ●今まで通りでよい。文化センターなど講演会など13:00とか10:00とたぶん決まっているので、それに合わせた時間に。今日も時間に間に合わないので、藤江から歩いてきました(45分かかった) | D |
| 25 | 70 | 石浜 | | ●隣の市町とのリンクをもう少し拡大したらどうでしょうか。(他の市町のダイヤ表も含めて)例えば、大高イオン、阿久比アピタ、半田カーマ、半田市民病院 | C |
| 26 | 60 | 生路 | ●基調講演の中であった、公助、互助、共助、自助の大切さを感じたが、どのような具体的な方法があったら | ●ルートの変更は、住民の意見がどれくらい入っているのか！古い町みななので狭い道なのでむつかしいけれど、高齢者の多いところを便利にしてほしい。バス停の変更はありますか？それはどう決めていくのか？ | F |
| 27 | 60 | 生路 | ●現状の民間企業への支援にはどんなものがあるか、公共交通衰退のスパイラル防止のため ●例:地方鉄道交付金のようなものがあるのか ●できるだけ民間企業で経営してもらったほうがよいので | ●高齢者にとって通院は大きな意味がある。地域利用が叫ばれる中、刈谷豊田総合病院、長寿医療へ通院するのがよいと思っている方が多いが6つの地区の住民が通院しやすいダイヤにしてほしいです。JRとの連絡を重視してほしいです | D |
| 28 | 40 | その他 | ●現在、交通に関心を持たない地域の皆さんを、このような意見交換会と一緒に来てもらうにはどう伝えたら良いか？ | ●本日、JRの遅延により、緒川駅発のうららに乗り損ねました。JR同市では連携がとられていて、待ってくれるのに、5分だけでも待ってくれたらと思いました。 | C |
| 29 | 70 | 藤江 | | ●町内のJR駅列車との連絡はとっていますか ●公共事業なので採算性を重視すればマイナス方向へ進むのではないか | C |
| 30 | 60 | 藤江 | ●車の保有率が多く、各家庭、個人が車で移動手段として使っている現在、バスと自動車、JR、名鉄の鉄道とのバランス、共存をどのように考えておられるのでしょうか | ●大府、刈谷、半田の総合病院へ通うのに、乗り換えのない運行を希望していますが、3市とのバスの接続も可能にした利用方法ができればありがたいと思います。(特に半田市) | C |
| 31 | 70 | 藤江 | | ●小型ワゴン車又は軽自動車を役場に2~3台おいて、呼び出しできるようにする。料金は1回300円程度いただく。(特に早朝6時~8時 夜19時~22時の間) | F |
| 32 | 40 | 森岡 | ●バス1台増やすとコストがかかるけれど、バス1台増やすことで、高齢者がなじみの場所に行くことを継続できれば、健康維持でき、医療費や介護保険費の削減につながるの思うのでそこらへんも細かに数値を出して、損して得取れを意識させられると良いと思います。 | ●大まかな路線のバス系と、小さい路線を行き来できる小さなバス(タウンエースみたいな車)の組み合わせで、住民の利便性を考えられると良い。(便利なら負担をしたいと思えると思う。) | F |
| 33 | 60 | 緒川 | ●JR生瀬どまりでなく、宝塚まで行ってしまっているのか？JRとの公共交通同市の競合になるのでは、先生のお答えは？ | ●運行のニーズや必要性があっても道路が狭く実現できないところが多々あると思う。道路整備にも力を入れてほしい | I |
| 34 | 70 | 緒川 | ●試行に大学から支援金をだしてもらえるのかな？ | ●うららをまだ使ったことが無いのでわからないが、2時間に一本というのは少なすぎるという言葉をよく聞く。実際に乗って確認したい(目的が2時間で達成できるかできないか？) | A |
| 35 | 60 | 緒川新田 | ●私も「はなざれ」で地域参加していますが、専門的でしたので、何が何だかさっぱりわかりませんでした。 | ●うららとJRとの交通アクセスをもう少し良くしてください。 | C |
| 36 | 60 | 生路 | | ●加藤先生の言われるとおり、計画見づらい、伝わらない。作り直そう。 | - |
| 37 | 60 | 石浜 | | ●今後の計画について、すぐに把握できる、意見が言えるような力はありませんが、例えば、前回のダイヤ改正では、刈谷総合病院に行く朝早い時刻のバスがなくなって、大変困るなどの声を聞いたので、今後の改正については、利用実態、利用者の希望を反映してほしいと思います。路線や本数を考えると、不便で、今は乗りたいと思えないのですが、うららが出来た時嬉しいと思ったので、もう少し便利になったらと思います。JRがふつうに着ても、駅に着く直前にバスは行ってしまおうということは何度も目にしてます。どの駅にもちょうどよきは難しいかもしれませんが。 | D C |